

## 第3回「田園回帰」に関する調査研究会

### － 議事概要 －

1. 日時：平成30年2月21日（水） 9：30～11：30

2. 場所：中央合同庁舎第2号館5階 選挙部会議室

3. 出席者：以下のとおり（敬称略、委員は五十音順）

（委員）小田切 徳美 座長、阿部 巧 委員、小林 陽子 委員、永沢 映 委員、  
藤山 浩 委員、山内 昌和 委員

（総務省）池田地域力創造審議官、門前過疎対策室長、佐藤課長補佐、小野課長補佐

4. 議事：

- （1）「田園回帰」に関する調査研究報告書（案）について
- （2）現地ヒアリング調査結果について

5. 主な発言内容：

（1）「田園回帰」に関する調査研究報告書（案）について

- ・本調査研究では、国勢調査の個票分析、移住者に対するアンケート調査及び市町村に対する施策調査を実施し、これらの3つの分析・調査をマッチングしたことが大きなポイント。特に国勢調査の個票分析と市町村に対する施策調査をマッチングしたというのは、おそらくかつて例がない。施策が行われた市町村でどのような影響が出たのかということ、国勢調査レベルで明らかにしている。
- ・人口規模の小さな区域ほど移住者が入っている、いわゆる田舎の田舎現象が確認されたのは注目すべき。
- ・施策の開始年度が早いほど、移住者が増えている区域を有する市町村が多いことも分かった。人口移動に、かなりブロック格差、東西格差があり、西日本の方が早く過疎化が進み、平成の合併の影響もあって、早い時期に過疎対策に取り組んだ成果が出ている。
- ・施策の開始時期が遅い市町村は情報提供のみで止まっていて、早い時期に始めた市町村はもっと踏み込んだ施策を行っており、期間の長さだけでなく質も違うのではないか。
- ・U I Jターンのきっかけと、移住者が活用した施策を丁寧に読み解くと、新しい人材を受け入れるためにはどういう施策が効果的なのか参考になるデータが得られるのではないか。
- ・移住者を呼び込めるかどうかは、単に施策を実施しているかどうかではなく、総合的な仕組みや地域の体制ができていっているかどうかで決まる印象がある。移住した人に聞くと、この人に出会ったからこそここに決めたというケースが多い。地域で移住促進に取り組む人、相談できる人との出会いが移住のきっかけとなっている。

- ・地域に魅力を感じる事が一番の動機付けになるわけであって、施策がよくても、魅力が無い地域には移住しない。ただ、地域の魅力に気づいてもらうためには一定の情報発信が必要。
- ・全国的に移住に特化したNPOが立ち上がり始めているが、指針がなくビジネス化されておらず、運営や資金調達の方法が分かっていない。既存の町内会や協議会をNPOに移行する形がよいのではないか。
- ・受け入れ側において、移住コーディネーターなどの人材育成が進んでいない。移住コーディネーターの在任期間が短く、ベテランがいらないことに危機感を覚える。
- ・今回は移住者に着目して分析しているが、世間一般では施策の目標として人口が重視される傾向がある。各自治体が一生懸命、人を増やすことに集中している気がするが、中長期の未来像を描いて、その中で施策を実施していく必要がある。移住と人口変化を考えた上で、地域としてどういう目標を掲げるべきなのかを整理する必要がある。
- ・今回の調査結果を実際の現場である市町村に共有することが重要。都道府県のカも借りながら活用を図ると、データが生きてくるのではないか。

## (2) 現地ヒアリング調査結果について

- ・現地ヒアリングの対象自治体では、移住を受け止める仕組みが二重、三重になっていた。ワンストップ窓口があって、それを地区単位で補完する構造ができている点が共通している。移住者をサポートする体制が整っている。
- ・移住者を呼び込むためには核となる人が必要。都道府県の役割と市町村の姿勢が問われていて、それぞれに核となる人材が必要であると感じた。
- ・東栄町のビューティツーリズムや輪島市の伝統工芸、伊予市の翠小学校など、地域独自の資源や特色を生かした取り組みが見られた。
- ・移住促進には写真も重要である。自分たちの地域の魅力、価値を客観的に見る事ができているかどうか分かる。また、移住者が増えている地域には、移住者が引きつけられるストーリーがある。
- ・都市部へのアクセスも重要な要素となっている。Iターン者にとっては、ほどよい距離に都市がある環境が大事な条件だと感じる。
- ・移住者の受入を支援する団体が活動を継続するにあたり、財政面の弱さを感じる。今後、どのように自立して財源を確保するのか課題となっている。
- ・財政状況が厳しいからこそ、移住促進に取り組む必要がある。現時点だけでなく、将来にわたるバランスシートを考えて先行投資をしないとイケない。

以上